

## 平成28年9月定例会市議会市政報告

平成28年第3回釧路市議会9月定例会の開会にあたり、6月定例会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

はじめに、8月17日に道内に上陸した台風第7号を皮切りに、3つの台風が北海道を直撃いたしました。今回の台風による被害に遭われました皆様に心からお見舞い申し上げます。

北海道に1年間で複数の台風が上陸したのは、1951年の統計開始以来初めてのことであり、釧路市においても暴風雨による住宅等への被害、河川の増水、土砂崩れなど多くの被害が出たところであります。

道内の他地域におきましても多大な被害が出ており、特に河川の氾濫による道内主要交通網の寸断、あるいは農作物への被害など今後も大きな影響がでるものと認識しております。

今後、災害からの復旧活動もより進められることとなりますが、人流・物流を担い道内経済を支える鉄道路線網・道路網などの一日も早い復旧を願うとともに、様々な自然災害への備え、防災減災に向けた取組をしっかりと進めていかなければならないと考えております。

最初の報告は、「**釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議の設置**」についてであります。

昨年12月に策定した「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、本年7月15日に、外部委員による「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議」を設置し、総合戦略を進めていく上で様々な観点からご助言をいただいたところであります。

また、その推進に当たっては、重要業績評価指標（KPI）に基づき、施策の進捗を客観的に把握するとともに、PDCAサイクルなどフォローアップ体制を構築し、施策・事業が着実に効果を発現するよう努めてまいりたいと考えております。

報告の第二は、「**釧路市まちづくり基本構想策定市民委員会の設置**」についてであります。

「釧路市まちづくり基本構想」については、これまで「都市経営の視点」を持ち取り組んできた「財政健全化推進プラン」、「市役所改革プラン」、「政策プラン」からなる「都市経営戦略プラン」や、昨年策定いたしました「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、釧路市まちづくり基本条例の理念のもと、市民の皆様のご意見を伺いながら策定していくことが重要と考えております。

「釧路市まちづくり基本構想策定市民委員会」は、こうした市民参加の役割を担い7月11日に発足したところであり、学識経験者や連合町内会、商工会議所などの各種団体や市内企業、子育て中の女性、公募市民を含む20名で構成し、委員の半数は女性に参画いただいたところでもあります。

今後も、様々な観点からご意見やご提言をいただきながら本基本構想を平成29年度末までに取りまとめでいきたいと考えております。

報告の第三は、「**釧路駅周辺のまちづくりに関する方向性**」についてであります。

釧路駅周辺のまちづくりにつきましては、これまで、地域課題である防災・減災と駅南北を連絡する交通の円滑化への対応やコンパクトなまちづくりの推進などについて、有識者検討部会を設置し、防災等の新たな視点を含む将来ビジョンを検討してきたところであり、9月5日に有識者検討部会から市に対し、中間報告が提出されたところでもあります。

中間報告の「整備方法の検討のまとめ」におきましては、「コンパクトなまちづくりの推進や、地域課題である防災・減災と交通への対応を踏まえ、防災等の新たな視点を含む釧路駅周辺のまちづくりビジョン等について、鉄道高架化及び駅舎橋上化という2つの方向性を検討した結果、現時点で望ましい整備方法は、鉄道高架化と考えられること。今後は、鉄道高架化を基本としながら、全体事業費や整備効果、そして鉄道事業者の動向を踏まえ、検討を継続する必要がある。」との提言がなされています。

今後、市といたしましては、この提言を踏まえ、都心部に賑わいや活力をもたらすための、駅周辺の土地利用のあり方や、駅前広場や公園等の公共施設の配置、また、交差道路の平面化などインフラの配置などについて、「都心部まちづくりの検討」を進めていくことを基本に、引き続き、国や北海道、鉄道事業者とも連携を図り、実現可能な事業基本構想の策定に努めてまいります。

報告の第四は、「**阿寒国立公園の国立公園満喫プロジェクトの選定**」についてであります。

7月25日に開催された「第3回国立公園満喫プロジェクト有識者会議」におきまして、全国に32カ所ある国立公園の中から、阿寒国立公園をはじめとする8カ所が選定されたところでもあります。

本事業は、我が国の国立公園が世界の旅行者から長期に滞在したいと憧れを抱かれる世界最高水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることにより、2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を全国で1000万人にすることを目的としております。

今後、環境省と地域の代表からなる「地域協議会」が設置され、この協議会において具体的な取組内容をまとめた「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、取組の方針や、重点取組地域であるビューポイントごとの整備方針などを定め、これらを平成29年度から戦略的に推進していくものであります。

市といたしましては、恵まれた自然環境をしっかりと守ってきたこれまでの取組や観光資源を活用した地域の取組が高く評価されたものと受け止めており、環境省釧路自然環境事務所とも連携し事業推進に取り組んでまいりたいと考えております。

報告の第五は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約117億2千万円となっており、8月31日現在における発注済額は約94億5千万円であり、発注率は、80.6%となっております。このうち、地元企業への発注は、金額で約85億9千万円、率では昨年の約85%から約91%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約80%、上水道事業で約81%、下水道事業で約63%、住宅建設事業は約87%の状況となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。